



南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和8年9月3日発行

文責：校長 川野 和昭

実りの秋 2学期スタート

41日間の長い夏休みが終わり9月1日（火）から2学期がスタートしました。友達と久しぶりに会えたことを喜ぶ笑顔や夏休みの出来事を互いに紹介し合う声などで、静かだった校舎内に、賑わいが戻ってきました。

始業式では、最初に「がんばった自分にご褒美」の話をしました。ご褒美があるから頑張れることも多いです。この夏休みに保護者・地域の方々から旅行やお祭りなどたくさんの思い出というご褒美をいただきました。ご褒美をいただいたのでその分も含めて、2学期も学校生活をがんばっていきましょうということを話しました。それに加えて、「あいさつ」に積極的に取り組もうという話をしました。今年のテーマは、「DO BEST」（良いと思うことを積極的にやろう）です。自分たちの仕事である学習に対して真剣に取り組む、で2学期も自分の力を高めていってほしいです。

3年生と5年生の代表児童からは、夏休みの思い出と2学期にがんばりたいことの発表がありました。家族で旅行に出かけたことや自然体験の様子などに加え、苦手な学習に取り組みたいことや運動会に向けての目標なども話してくれました。学校に慣れたらすぐに運動会の練習が始まります。秋の本格的な訪れを待ち望みながらも、暑さ対策に気を配りながら2学期の学校教育活動を進めていきます。今学期も白根百田小学校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



白根地区あいさつ運動

9月1日（月）から4日（金）まで青少年育成白根市民会議の方々 が北門と西門前に集まって地域あいさつ運動が始まりました。あいさつが交わされる地域は「人の目」が行き届いているというサインになります。不審者にとって声をかけられるリスクが高まるため、犯罪の抑止力となり、地域全体の防犯意識の向上につながりますし、地域ボランティアの方々が登下校時などに寄り添ってくれているので、登下校中の事故や事件から子供を守ることができています。また、子供自身が挨拶の習慣や社会性を身につけ、地域に守られているという安心感を育むきっかけになります。また、日頃から挨拶を通じてお互いの顔や人柄を知っておくことは、災害発生時のスムーズな安否確認や助け合い（共助）に直結します。あいさつ運動は、「地域づくり活動」として重要な役割を果たしています。今学期は、あいさつのあふれる白根百田小学校にしたいです。



横森一哲（かずのり）先生 着任

4月より1名欠員となっていた教員の代替えとして2学期より横森先生が着任しました。先生は、3月まで中央市の校長先生であり、過去に本校の勤務経験もあるので教員経験も豊富です。安心して児童を任せることができます。これで、規定された全職員が配置されました。横森先生には、6年生の理科・体育、5年生の体育、4年生の図工、3年生の外国語、1年生算数・国語などに入っていただきます。

年度途中の変更で申し訳ありませんが、御理解をよろしくお願いいたします。人員が、整った分、これまで以上にきめ細やかな指導体制等を構築していきます。

横森先生より

2学期より本校に着任しました、横森一哲と申します。百田小学校でお世話になるのは2度目となります。大好きな百田小学校に再び勤務できることになり、とても幸せです。今日も、やさしい子どもたちからたくさん声をかけてもらいました。百田小学校の子どもたちが、安心して学校生活を送り、自分のよさを伸ばせるよう微力ながら力を尽くしていきます。よろしくお願いいたします。

PTA 作業ありがとうございました。

8月29日（土）6時30分から1時間、PTAの愛校作業が行われました。校庭の草取りや落ち葉拾い、樹木の伐採、枝集め、側溝の泥上げなどをしていただきました。おかげで白根百田小の周りがとてもきれいになりました。お忙しい中多くの方々にご協力いただき感謝しております。ありがとうございました。



道徳公開と教育講演会を行います。

11月18日（水）の5校時に道徳の地域公開授業が予定されています。今年度より、その後に、地域教育講演会をすることになりました。授業公開終了後、14時50分より山梨県産業短期大学情報技術科の安本岳志教授をお招きして「生成AIの今後と児童への影響」（仮題）について講演会を行います。生成AIの普及によって生活は、便利になりつつありますが、思考力・試行錯誤の機会の低下、情報の誤信、情報モラルやプライバシーの問題など課題もあります。児童にとってこれからどのような力が必要でどのようなことに注意させていけば良いのかなどの興味深い話がきけることと思います。お忙しい折ですが多くの方々の御参加をお待ちしております。